



ミラノサローネ国際家具見本市：隔年開催見本市

Workplace3.0 2017

明日のワークスペース：バーチャルとフィジカル、共有と個性、内と外、個人と社会がよりボーダーレスに。

Workplace3.0 は、ワークスペースに何が必要かを探るためのシンクタンク。単なる展示ではなく、市場の変化とニーズに応えるための、アイデアの発信源。出展社は、さまざまなワークスペースに適応する最新デザインを披露します。

国内外の出展社にとって最高のビジネスの場である Workplace3.0。イタリアの企業にとっても、輸出において好調な伸びを見せています。8000 万ユーロ以上の輸出高を記録した中でフランスが市場 1 位、2016 年 1~10 月期にはイタリア・オフィス家具部門で英国が前年同期比 28.5%増、アメリカが前年同期比 30.4%増と、飛躍的な伸びを記録しました。

ビジネスチャンスはもちろんのこと、Workplace3.0 はアイデアの宝庫でもあり、単なる生産主導型の場でなく、より自由で有機的な活動の場へと進化するオフィス環境のニーズによって変化し続けています。プライベートと仕事、個人的な関心と能力、ソーシャルライフと仕事、それらの境界線が薄れつつあるハイブリッド・ライフスタイルのマクロ的な枠組みの中で、新しいオフィスのトレンドが生まれ始めています。オープンでインフォーマルな環境、その瞬間のニーズに応える再構成可能なオフィス家具、共有スペースはよりアイデアと創造性に満ちた革新のインキュベーションの場となりつつあります。

オフィスはノマド化し、どこでも働けるようになりました。ポータブル・モジュールさえあれば、家の庭も、公共のオープンスペースもオフィスと化します。流動的な現代のライフスタイルが、プライベートな生活と仕事との境界線をなくし、家や家の家具はホーム・ユーズとオフィス・ユーズの両方に適応が求められています。そのため、企業のオフィスでは、リラクゼーションや瞑想、身体を横にして休められるスペースが設けられたり、スポーツ用具が設備されたりするようになりました。

カスタム化のためのアプローチでは、部屋の中で働く人だけでなく、環境や経済の持続可能性などにおける価値観やニーズに基づいたプロフェッショナルな関係を考慮して、スペースを個別に構築できるようにします。

2017 年 Workplace3.0 では、人々が働く場所が「素晴らしい場所」であることを証明すべく、ワークライフのバランスを保ち、モチベーションをあげるデザイン・ソリューションを紹介します。